科目名	観光学慨論Ｂ　　Introduction to Tourism B						
科目担当者	墨 昌芳　　SUMI Masayoshi						
単位数	2	配当年次	２年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修○					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)

授業の概要	現在観光は、経済・文化の両面に大きなインパクトを与えるものとして多くの国で重要視されています。日本においても人口減少・少子高齢化が進んでいる中、観光の役割が注目されています。本講義では、ビジット・ジャパン・キャンペーンを含めた日本の観光政策、宮崎県の観光政策、ニューツーリズムなど、観光を考える上で習得すべき事柄についてきちんと紹介し学習します。また、受講者には宮崎県の観光が抱えている課題を観光マーケティングシートを通じて検証してもらいます。そして、検証された結果に関して、グループ発表を行い、意見の集約を図っていきます。さらに、理解度を確認するため、講義内でほぼ毎回小課題に取り組んでもらいます。
授業の到達目標	①日本の観光政策の取り組みを理解する。 ②ニューツーリズムの特性・重要性を理解する。 ③観光に関する知識を身に付け、観光が抱える問題に、自分自身で対策を考えることが出来る。

授業計画・内容		
	1	ガイダンス：観光の現状、講義の概要
	2	日本の観光政策の取り組み（1）：VJC の内容
	3	日本の観光政策の取り組み（2）：VJC の効果
	4	日本の観光政策の評価・検証
	5	宮崎県の観光の現状（1）：観光の歴史（岩切章太郎氏の取り組み）、観光政策、観光と交通
	6	宮崎県の観光の現状（2）：観光地の現状～シーガイアの経営問題～
	7	宮崎県の観光の現状（3）：観光地の新たな取り組み（綾ユネスコエコパーク、霧島ジオパーク）
	8	ニューツーリズムとは
	9	ニューツーリズム（1）：エコツーリズム、ヘルスツーリズム、産業観光
	10	ニューツーリズム（2）：コンテンツツーリズム、ダークツーリズム、ガストロノミーツーリズム
	11	観光マーケティング：観光客誘致のためのマーケティングシートの作成
	12	グループ発表（1）：前半のグループによるプレゼン・ディスカッション
	13	グループ発表（2）：後半のグループによるプレゼン・ディスカッション
	14	高齢化社会と観光、ユニバーサルツーリズムとは
	15	ユニバーサルツーリズムに向けた取り組み

授業外学修 (事前学修)	発表のための準備を行う（１５時間程度）
授業外学修 (事後学修)	授業内容について分からない点などを復習し、不明点を調べておく（毎週２時間程度、合計３０時間） 課題を作成する（１５時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応			
	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験	50%	①、②、③
	課題の提出	30%	①、②、③
	プレゼンテーション	20%	①、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	教科書は特に使用しない。教材を必要に応じて（ほぼ毎週）配布する。
参考文献	国土交通省観光庁『令和 6 年版 観光白書』日経印刷 (上記の観光白書は、国土交通省のホームページ上から全文無料で入手可能) 山下晋司『観光学キーワード』有斐閣 中尾清・浦達雄『観光学入門』晃洋書房
その他	＜どのような学生の受講が望ましいのか＞ 観光に興味がある学生 観光産業に就職を考えている学生